

グリーン産業 株式会社

DX宣言書

2025年4月18日
グリーン産業 株式会社
代表取締役 荒川 義克

□ 経営理念

- ・ 私たちは安全な暮らしの基盤づくりと緑と調和した生活、人と地域を豊かにする場を提供し希望ある未来へと続く社会を実現します。
- ・ 私たちは共通の志を持ち仕事によって誇りや喜びを得られる連帯感ある職場を実現します。
- ・ 私たちは日々変革を続け、経営の合理化をはかり社会への貢献と利益を追求することで物心両面で豊かな生活を実現します。

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 社内業務を最適化することにより生産性向上を実現し、捻出した余剰時間を営業・マーケティング活動、社内イノベーションの推進に活用することで、お客さまのニーズに応えます
- ◆ 社内効率化のノウハウを同業他社さまの業務最適化にも活用いただくことで、県内建設業界のDX推進に貢献します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2026年7月)

戦略 「社内業務プロセスの最適化による組織全体の生産性向上」

- 施策
- ・ 各部署のプロセスを可視化し、ボトルネックを特定、プロセスの標準化等、改善策を検討
 - ・ 属人化を解消するために、各プロセスごとに業務の目的や具体的な作業手順を明記したマニュアルを作成し、技術伝承を実現
 - ・ 紙媒体の書類を電子化する等、全社的なペーパーレス化を実施
 - ・ 新潟県造園業界の先駆けとして、DX認定を取得

➤ フェーズ2(2026年8月 ～ 2028年7月)

戦略 「データの一元管理とシステム連携を行い、リアルタイムでの情報共有を実現」

- 施策
- ・ 進捗管理方法を統一することで、人的資本をより効果的に活用
 - ・ 現場実態をタイムリーに把握するために、作業日報のデジタル化を実施
 - ・ 進捗状況をリアルタイムに確認するために、ダッシュボードを作成
 - ・ 社内の業務フローに合わせた顧客管理システムを導入し、顧客情報を一元管理

➤ フェーズ3(2028年8月 ～ 2030年7月)

戦略 「デジタル化を通じて持続可能なビジネスモデルを構築し、業界全体の発展に貢献」

- 施策
- ・ 蓄積した顧客情報を基に、効率的な営業・マーケティング活動を展開
 - ・ AIを活用した更なる業務効率化を推進することで余剰時間を創出し、お客さまへ新たな価値を提供できるような取り組みを検討
 - ・ DXの取り組みを会社ホームページ等を活用して広く発信
 - ・ 社内効率化のノウハウを活用し、同業他社さまのDX・業務効率化のサポートができるような取り組みを検討

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役を実務執行統括責任者とします
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ DX認定の取得 : ～2026年7月
- ・ 時間外労働時間 : 年間100時間/人(～2030年度)